

平成30年度第2回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成30年5月17日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

今回は在宅医療ガイドブックの名称を決めます。ご意見をお願いします。

2 議題

(1) (仮称)在宅医療ガイドブックについて(資料1)

事務局)・タイトルの決定をお願いしたい。

・1月の素案からの修正点

① P4～5、見出しを在宅療養生活を支える医療と介護とした。

② サルビー見守りネットの紹介を追加

③ P8表題の変更

④ P9原稿の修正を病院に依頼している

⑤ P10副題を「赤ちゃんの看護から看取りまでに」変更

⑥ P10訪問看護でできることについては社協だよりに載せたレイアウトに変更

⑦ P12薬剤師会の意見を反映した

⑧ P14を新たに追加

⑨ P19意見を頂いていたが、著作権の問題があり載せず、厚労省のガイドラインの内容を記載(参考資料1-2)

※ 意見は6月の推進会議までに事務局までお願いします。

【意見】

- ・地域支援部会)イメージがいまいちわからないが従来通りに出来上がれば良い。
- ・住まい部会)かかりつけ医イコール在宅医療ではないので、記載内容を変更した方がよいのでは。(P8)。
- ・会長)現在安城市の診療所で在宅医療を行っているのは全体の四分の一。表現をまろやかに。
- ・事務局)「かかりつけ医を持ちましょう」に変更してはどうか。
- ・歯科医師会部会)歯科医師会員70名中在宅医療をしないのは3軒。歯科医はかかりつけ医が責任を持って動くことになっている。歯科医師会では、かかりつけ医=在宅医療担当医でよい。
- ・ケアマネット部会)「かかりつけ医に在宅医療を相談しましょう」はどうか。
- ・事務局)在宅医療サポートセンターと相談する。
- ・会長)P8訪問診療の回数について。平成30年度から訪問回数が月1回でも訪問診療管理料が取れるようにシフトしているので「月1～2回」としてほしい。

- ・事務局) 修正する。
- ・歯科医師会部会) データ化し、ホームページ等に載せる予定はあるのか
- ・事務局) PDFを市のホームページに掲載する。リンクできるようにする。

会長) タイトルを挙手で決定したい。

- ①在宅医療サポートブック・・・2人
- ②在宅医療ガイドブック～このまちでいつまでも～・・・15人⇒決定
- ③在宅医療ガイドブック～自分らしい最期の選択～・・・2人
- ④在宅医療ガイドブック～住み慣れた自宅で自分らしい医療を～・・・10人

(2) 保健福祉部会からの提案事項(自動消火器の給付対象者の拡大について)(資料2)

担当者) 資料2のとおり説明。

高齢福祉係長) 自動消火器とは、キッチンの上に取り付け温度を感知し下向きに薬剤を噴射する小型の消火器。高齢者福祉サービスの一つ。給付拡大の最終判断は安城市がする。

【意見】

- ・デイネット部会) 自動消火器設置とIHへの切り替えを比較した場合、どちらが有効か。
- ・高齢福祉係長) 15年程前まではIH調理器を給付していた。給付廃止になった理由として、ガスから電気への変更や調理道具の変更は高齢者の生活の仕方を変えることになるので良くないと考えたからではないかと思われる。
- ・地域支援部会) 町内会では、家庭用消火器の更新時にスプレータイプの注文が多い。予算上の問題があるのならスプレータイプを勧めるとかするのも良いのでは。
- ・高齢福祉係長) 予算が大きな問題であるのでまずは地域の要望である要件の拡大を検討したい。市の財政上拡大するならどこかを縮小しなければならないので時間を要する。
- ・ケアマネット部会) 認知症の世帯と一人暮らし世帯には必要である。
- ・会長) 給付拡大の検討をお願いしたい。

(3) 介護保険制度改正に伴う医療と介護の連携強化に関するお願い(ケアマネット部会)

(資料3)

ケアマネット部会) 資料3のとおり説明。連絡票の書式についての意見を聞きたい。

【意見】

- ・デイネット部会) 書式の共有とICTの活用を。情報収集の運用の仕方を示しておくこと事業所は動きやすい。
- ・病院部会) ①連絡票について。具体的に何を知りたいか、何について相談に乗って欲しいのか質問の意図が分かるように書いて欲しい。
- ・在宅サポートセンター) この連絡票では診療報酬は取れないが、様式を診療情報提供書に基づいた様式にすればケアマネージャーに情報提供した場合でも250点算定できる。→医療機関の協力を得られやすいのではないか。その場合は自己負担が発生するので患者の同意を得る必要がある。

- ・ケアマネット部会) 書式は安城市で統一する。
- ・住まい部会) サルビー見守りネット登録者以外か。
- ・ケアマネット部会) ゆくゆくはサルビー見守りネットに繋がれば良い。
- ・住まい部会) 問題解決には書式の普及か、サルビー見守りネット登録者と登録機関の増加が有効か。
- ・ケアマネット部会) 今年度は書式の周知をしたい。
- ・デイネット部会) 電子媒体なら加算がつくのでICTの活用を。共有方法もICTだとなお良いという方向性にある。。
- ・会長) 電子連絡帳はセキュリティが確保されているので医療系では診療報酬として認められるが、介護保険では文書で認められているわけではないので、安城市からすぐに許可が下りるのは難しい。従ってとりあえず今は書式を作ることで良いと思う。
- ・在宅医療サポートセンター) 書式の開始はいつか。
- ・ケアマネット部会) 検討を要するのですぐではない。
- ・在宅医療サポートセンター) 状況を知らない医師からの問い合わせが来た時に答えられるようにしておきたい。書類のやり取りだけで、ケアマネが医師と直接顔を合わせないようになる事が不安である。
- ・ケアマネット部会) 医師に直接意見を聞きに伺った方がよいのか、FAXでのやり取りがよいのかという医師側の意見をいただきたい。各部会の協力をお願いしたい。

(4) サルビー見守りネットの運営について (資料4)

事務局) 根崎町在住の人の主治医が碧南市民病院の医師であるためサルビー見守りネット利用の依頼があったので了承いただきたい。

会長) セキュリティの担保を知ることは難しいので市町の訪問看護ネットワークや医療機関なら医師会に所属している場合は承認している。今回は碧南市民病院なので問題ないと考える。

病院部会) 承認時には個人名でなくて施設名だけであったが個人名を公表することに意味はあるか。

事務局) 特にありません。

挙手多数により承認された

連絡事項

- ・介護保険利用の手引き及び安城市介護・高齢者福祉 (WEB版) について
事務局) 今年度から全戸配布しない。表紙のQRコードからWEB版へ。市のトップページ (パソコン版) からWEB版に行ける。
- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会 (資料5-2)

① 地域包括ケア市民フォーラム開催時の多目的室の利用について
事務局) 平成30年9月1日(土) 9:00~16:30多目的室1, 2, 3確保。
フォーラム待ち時間の有効活用のため利用。内容の案があれば今月中に電話かメールで。

②テーマ: 自立支援を目的としたリハビリテーションの視点を学ぶ~地域ケア会議に呼ばれたとき、お役に立てる療法士を目指して~ (訪問リハビリネット部会)

日時: 平成30年6月22日(金) 午後6時から午後7時30分まで

場所: 八千代病院 大会議室

講師: 都築 晃 氏

訪問リハネット部会) 誤) 午後6時から午後7時30分

正) 午後7時から午後8時30分

保健福祉部会) どのように自立支援型の地域ケア会議をしていくかを一緒に考えるということで良いか。

訪問リハネット部会) 今回は講演のみだが今後部会同士で協働できたらと考えている。

③テーマ: エンドオブライフ・ケア研修会 (医師会部会)

日時: 平成30年7月7日(土)午後1時30分から午後6時まで

場所: 医師会館 2階 大会議室

講師: 杉浦 真氏

定員: 30名 (事前申込制)

病院部会) 去年来た人でも良いように内容を少し変えてアドバンスケアプランニングに焦点を当てる。

事務局) ②③の研修会は本日夕方用紙をFAXするので申し込みを。

○歯科医師会部会) ポスター (300枚) とリーフレット (1000枚) を70施設に配布する。



次回 平成30年6月21日(木) 午後1時30分~2時30分 社会福社会館 会議室
地域ケア推進会議終了後、認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催。